



# 国民春闘共闘

第11号

2015年3月17日

国民春闘共闘委員会

〒113-8462 東京都文京区湯島2-4-4 全労連会館

☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

2015春闘・第1回進ちよく状況調査

## ベースアップ獲得続々と！

国民春闘共闘委員会（全労連、純中立労組懇、地方共闘などで構成）は16日、加盟全単組を対象とした2015年春闘における第1回目の「春闘進ちよく状況」調査を実施し、18単産（2234組合）からの報告をまとめました。

### 1. 要求提出状況

3月16日現在、別表の18単産から報告が寄せられました。交渉単位では2234組合となります。このうち、要求提出が確認できた組合は1291組合（57.8%）と前年同期を1.2%上昇回っていますが、全体としては、未だ十分な取り組みとはなっていません。

単産別に要求提出率をみると、合同繊維、検数労連、通信労組、全損保、郵政ユニオンの5単産が100%で、これに全倉運（92.5%）、日本医労連（80.3%）、映演労連（80%）、JMIU（78.8%）、特殊法人労連（77.8%）、出版労連（73.2%）が続いています。日本医労連で前年同期比14.8%増となったほか、映演労連（同5.5%増）、JMIU（同4.4%増）、全印総連（同2.5%増）などで前年同期を上回る要求提出率となっています。

### 2. ストライキ権確立状況

調査組合（調査中の建交労とスト権投票がこれからとなる映演労連を除く）のうち、ストライキ権を確立したのは638組合（38.9%）となっています。前年同期から2.6%増加していますが、過半数には達していません。

ストライキ権を100%確立しているのは、検数労連、通信労組、全損保、郵政ユニオンとなっており、JMIU（62.5%）、合同繊維（60%）、特殊法人労連（55.6%）、日本医労連（53.7%）では過半数以上の組合でストライキ権を確立しています。

### 3. 回答引出し状況

要求提出した1291組合のうち39%にあたる504組合が現時点で回答を引き出しています。前年同期と比べ0.4%低下回っています。

郵政ユニオン、特殊法人労連での100%に続き、出版労連（71.8%）、全印総連（66%）、民放労連（65.4%）、生協労連（63.6%）の回答引出し率が比較的高くなっています。

通信労組から「NTT東西グループ会社のすべてが『別途回答』、『回答日を含め検討』、JMIUからも『回答延期』が目立つ」との報告も寄せられており、今後のたたかいがますます重要となります。

## 4.回答引出し状況

回答内容について<定昇あり>の職場（回答 327 組合）からみていくと、「ベアゼロ」（定昇のみ）が 232 組合と 7 割強となっていますが、「定昇+ベア」回答を引き出した組合は、JMIU（20 組合）、出版労連、日本医労連（各 18）、化学一般労連（14）、生協労連（11）、全印総連（8）、全農協労連（1）の計 90 組合（回答組合中 27.5%）と前年同期（70 組合・22.2%）から 20 組合・5.3 割増えています。一方で、特殊法人労連の 5 組合では賃下げ回答が出されています。

<定昇制度なし>の職場（回答 133 組合）では、「有額獲得」を引き出した組合は 118 組合（回答組合中 88.7%）と前年同期（140 組合・87.5%）を割合で若干上回っています。一方で、14 組合で「ゼロ回答」、生協労連の職場では「5 月から来年 3 月まで 5%の賃金カット提案」という不誠実な回答が出されています。

「原材料の高騰などにより経営が悪化している職場も出てきている」、「良い回答と厳しい回答の二極化がすすんでいる」などの報告も寄せられており、注視していく必要があります。

## 5.平均賃上げ額・率とベースアップ平均額

回答があった 504 組合のうち、単純平均（一組合あたりの平均）額の揭示があったのは 364 組合です。その平均賃上げ額は 5,307 円で、前年同期（5,513 円）を 206 円下回っています。平均賃上げ率は、266 組合平均で 2.01%と前年同期（2.07%）から 0.06 割減となっています。

産業別の平均額をみると、民放労連（平均 8,007 円）、出版労連（平均 6,317 円）、JMIU（平均 5,564 円）、化学一般労連（平均 5,165 円）と続いています。

ベースアップ相当分の水準をみると額の揭示があった 78 組合での単純平均額は 1,614 円で、JMIU、生協労連、出版労連では平均 2,000 円以上となっています。

## 6.ストライキ実施状況

3 月 16 日現在、JMIU（92 組合）をはじめ、日本医労連（76）、通信労組（22）、建交労、全印総連（各 5）、民放労連、出版労連（各 2）、生協労連、郵政ユニオン（各 1）の計 206 組合（調査対象組合中 9.2%）でストライキを実施しており、前年同期と比べ 0.2 割増加しています。

通信労組が全国 24 都道府県 22 支部 81 事業所で 160 人がストライキに突入するなど、多くの組合が全国統一行動日の 3 月 12 日のストライキ決起となっています。

JMIU では 40 組合が、産別回答指定日の 3 月 4 日と全国統一行動日の 12 日の両日にストライキを実施。郵政産業ユニオンでは、3 月 16 日に全国 24 職場で 75 名がストライキに立ち上がりました。

## 7.妥結状況

16 日時点で妥結もしくは妥結方向となっているのは、要求提出組合の 3.1%にあたる 40 組合です。前年同期の 46 組合（3.5%）を僅かに下回っています。

「回答延期」や「ゼロ回答」、「低額回答」に対し、生活改善に資する賃金引上げを求めて、実力行使も実施しながら、回答引出し、上積み回答を求め、粘り強く交渉を進める各職場の姿勢が伺える状況となっています。

**まもろう憲法と暮らし ストップ暴走政治 実現しよう！大幅賃上げと雇用の安定**